

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

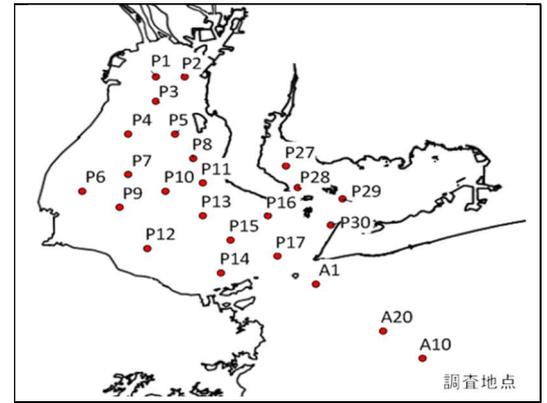
令和7年1月31日

【観測結果（調査日：1月20、22、23、27日）】

1月20日に渥美外海、22および23日に伊勢湾、27日に三河湾の観測を実施しました。

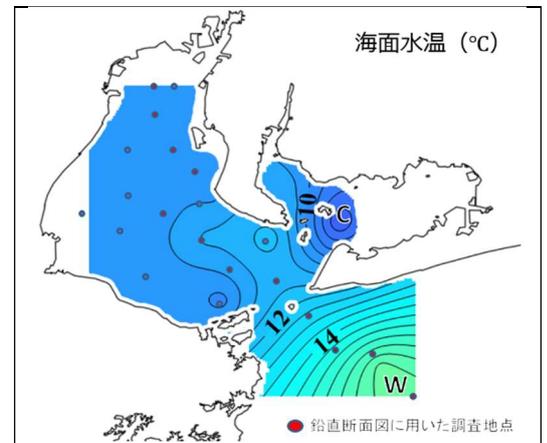
【水平分布（調査点：P1～A10）】

海面水温は、8.0℃から17.3℃となっており、三河湾で最も低く、渥美外海が高くなっています。海面のクロロフィルa濃度は、伊勢湾と三河湾の湾奥で高く、伊勢湾の南西部で低くなっています。

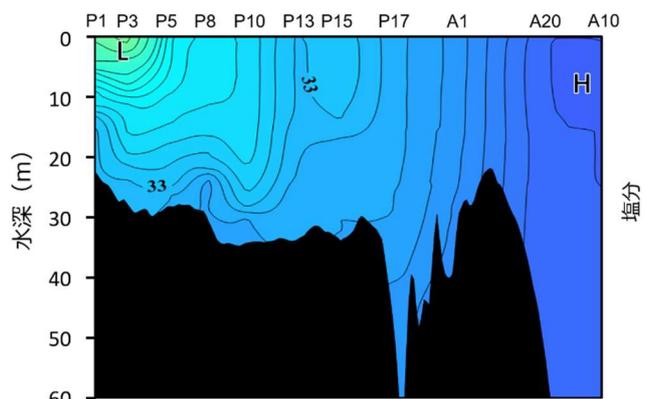
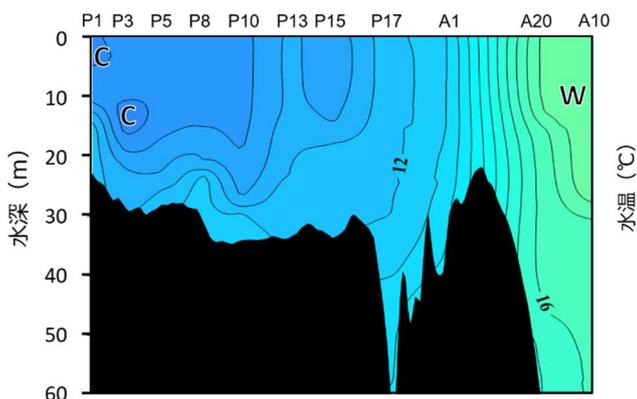
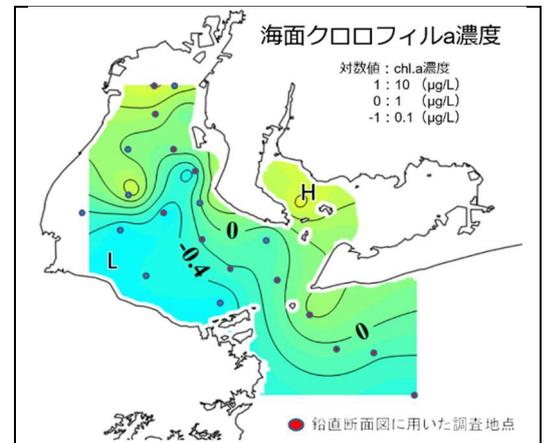


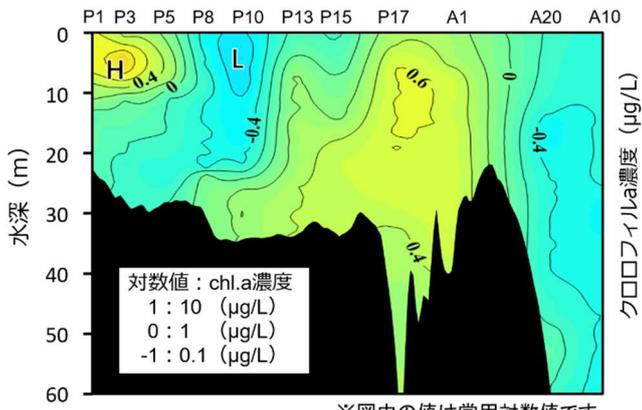
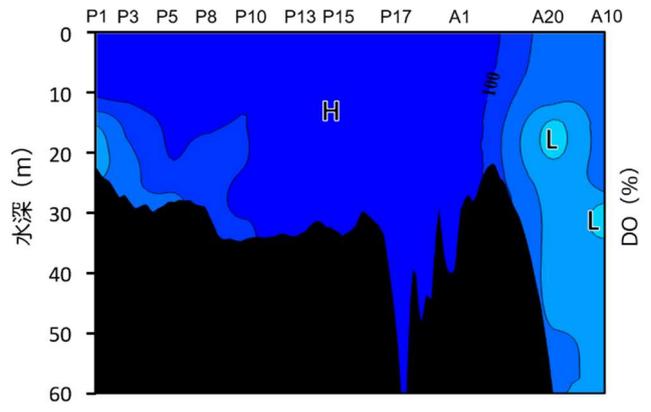
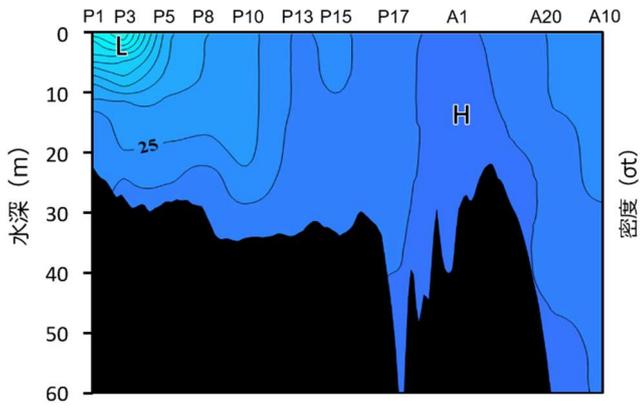
【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾湾奥（P1）～湾口（P17）にかけて、低い気温と河川水の影響により、内湾は低温・低塩分となっています。一方、渥美外海（A20～A10）には高温・高塩分となっており、両水塊が混合する伊勢湾湾口（A1）付近には熱塩フロントが形成され、周囲の水よりも重たく（密度が大きく）なっています。



クロロフィルa濃度は、河川水の影響の大きい伊勢湾湾奥（P1～5）の表層、および内湾系水と外海系水が混ざり合う潮目付近の全層で高くなっています。





※図中の値は常用対数値です